

## 解説

# 自分力を高める 人材開発への取り組み

(株)最上インクス  
鈴木滋朗\*



### われわれの考える教育とは

最上インクスは創業から60年以上の歴史を経て来た会社である。当社の基本理念は「仕事を通じて人が人として成長する」と定めており、3つのキーワード「人・夢・成長」と軸に事業活動をおこなっている。SAIJOのロゴ(図1)にある「i」は、常に人が中心というメッセージが込められ、創業から変わらず、大切に守っている。

筆者は3代目の経営者として、創業からのDNAを理解し、正しく守り、時代に合う形に変え、次の世代へ継いで行く役割を担っていると思っている。教育はミッションやビジョン・理念を実現していくために必要不可欠であり、教育を通じて、貢献できる人材になって行くことが、理念の実現につながるのだと思っている。そして、学び得たことを次の世代に伝える・教えることも大切にしている。教育を通じて、「学び 気づき 成長(貢献する)」循環機能を創ることが企業の大きな役割だと思う。図2に当社の100年ロゴも循環を表す。

\*(すずき しげあき)：代表取締役社長  
〒615-0034 京都市右京区西院西寿町5  
TEL:075-312-8775 FAX:075-312-0041



図1 最上インクスのロゴ。iは人を表す

今回のテーマである、技術者の育成についても、教育のベースは「人として」の教育が原点と考えている。当社は通常入社後すぐに専門教育だけでなく、会社の価値観・歴史・ビジョンなどを教育のカリキュラムにいれ、また数年たつと自分自身について考えるカリキュラムを受け、「自分はどようになりたいか」という人の共通のテーマについて考えてもらう機会を設けている(写真1)。このような、人としての考え方・生き方を学び、自己の発見・気づきを通じて貢献する人材へと成長していく。

### 技術者教育

当社も、ここ数年、外部環境の変化、事業の成長に目をとられ、教育に十分な時間的資源を投入できていなかった。改めて次の企業成長に、教育は重要と考えさせられた。特に技術者の育成については、時間のかかるものであり単純に技能を学ぶだけでなく、体系的に必要なことを学ぶプロセスが必要と感じ、われわれはここ数年で、技術者の教育に必要な知識・技能の体系化を行った。教育プロセスは学ぶことと実践することをベース



図2 同社の100年ロゴ